



アメリカ研究センター主催 外国語学部英米学科共催 講演会  
 南山大学アメリカ研究センター創立50周年記念事業

# ノースウッズ 生命を与える大地

アメリカからカナダに広がる広大な森林湖沼地帯「ノースウッズ」。無数の湖や川、深い森からなるこの大地には、オオカミ、ムース、ビーバーをはじめとする多様な野生動物たちが息づいています。さらに先住民アニシナベたちがおよそ七千年の昔から狩猟採集の暮らしを営んできました。

20年以上にわたりノースウッズに通い、自然とそこに息づく生命の営みを見つめ続けてこられた自然写真家・大竹英洋氏。その写真と言葉を通して、豊かな生態系の姿、変わりゆく自然環境、そして人と自然との関わりについて考えます。

講師

## 大竹 英洋氏（自然写真家）

1975年生まれ。写真家。一橋大学社会学部卒業。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに、野生動物、旅、人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作している。主な写真絵本に『ノースウッズの森で』、『春をさがして カヌーの旅』、『もりのどうぶつ』（以上すべて福音館書店）。



ファシリテーター

戸田由紀子氏（南山大学外国語学部教授）

日時

2026年7月9日（木） 11:05～12:45

場所

南山大学フラッテンホール



参加無料

申込不要

大竹 英洋氏  
 インスタグラム

